

現状と課題

少子高齢化の進展により、市民一人ひとりが抱える潜在的な健康や福祉の問題は多く、介護が必要になる前の予防や健康づくり等、高齢者への介護予防支援の取り組みや、少子化による子育て家庭に対する環境づくりが必要です。

また、核家族化や共働き家庭の増加により、日常生活における市民間の交流が停滞し「住民同士のつながり」も希薄化しており、これからの福祉を考えると、「顔の見える関係づくり」「共に生きる社会づくり」を進め、地域の助け合いによる福祉（地域福祉）を推進することが必要です。

健康については、運動不足や食べすぎなどによる高脂血症や糖尿病が増えているため、これらの生活習慣病を抑制することが必要です。

一方、地域医療の面では公立病院の勤務医が不足しているため、夜間救急の受け入れが困難なことなどから市民の持つ地域医療への不安が大きい現状があります。

したがって、市民が安心できる医療体制を確立しなければなりません。



作業療法(松尾IT保健福祉センター)



学童保育



ミニボール教室(蓮沼保健センター)



さんぶの森元気館(アクアピクス)

Enhancement of Health, Welfare, and Medical Services

Amid the advance of aging and the low birthrate and an increase in the number of single and elderly-only households, a major issue is the building of a social environment in which everyone can live without anxiety. In Sammu City, we are making efforts to strengthen coordination among health, welfare, and medical services and to establish a local community in which citizens support one another.